

会 報

理 事 会 報 告

(平成22年度第1回)

日 時 平成22年5月19日
場 所 京都テルサ
出 欠 理事(30名中)出席:渡辺理事長, 鈴木(公)
・森下・山岸常務理事, 鎌田, 藤兼, 武内,
尾形, 佐々木, 藤田, 長尾, 中島, 馬島, 鈴
木(栄), 小川, 長谷川, 一山, 鈴木(克),
倉澤(会長), 田中, 重藤, 富岡, 河野, 菅,
中西 計25名。西村監事, 岸前会長, 清水
支部長。
欠席により委任状:網谷, 橋本, 巽, 梅, 相
澤 計5名。阿彦監事, 石崎支部長。

報告事項

- I. 会務報告
- II. 委員会報告
- III. 支部活動状況
- IV. 第84回総会収支決算
- V. 第86回総会準備状況
- VI. 平成21年度学会賞について
- VII. その他

議 案

- 第1号議案 平成21年度収入支出決算
- 第2号議案 平成22年度収入支出予算
- 第3号議案 第87回総会会長並びに開催地について
- 第4号議案 名誉会員の推薦について
- 第5号議案 委員の推薦について
- 第6号議案 その他

鈴木常務理事より会の成立が述べられ, 渡辺理事長の司会により開始。平成21年8月三沢博人功労会員, 9月石坂彰敏理事, 平成22年1月渡辺昌平功労会員, 4月石橋凡雄名誉会員の逝去が理事長より報告され, 全員で黙禱。倉澤会長より挨拶。

報告事項

I. 会務報告(鈴木常務理事)

会員数は2844名と増加傾向にある。会誌「結核」は, 第84巻の掲載原著数13編。平成21年度の合計投稿数43編。理事会は7月, 9月の2回開催。会長の推薦委員会

を2月に開催した。同日, 阿彦・西村両監事出席の上, 監事会を開催し, 会計監査が行われた。

II. 委員会報告

1. 編集委員会(山岸委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ
先刻開催の委員会決定事項を報告する。①年1回, 英文特集号を発行する。②記念特集号を発行する。③投稿規程の引用文献について: 読者が閲覧不能な文献は認めない。

2. 学会賞選考委員会(倉澤会長)

平成21年12月7日 於 結核予防会
本年は今村賞2名, 研究奨励賞を3名推薦させていた
だき, 評議員にご承認頂いている(報告事項VI参照)。

3. 治療委員会(重藤委員長)

平成21年10月13日 於 アルカディア市ヶ谷
平成22年5月19日 於 京都テルサ
レボフロキサシンの使用方法について見解をまとめ,
結核誌第85巻第1号に掲載した。薬剤耐性結核対策に
対する提言について骨子を決め, 役割分担した。今後ま
とめていく。

4. 社会保険委員会(尾形委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ
平成22年4月に診療報酬の改正が行われた。飛世前
委員長の提出した要望書のうち7割から8割が認められ
た。地方の結核医療の崩壊が, よい方向に向かうと考え
られる。①7:1, 10:1の在院日数のしほりが解除され
た。②ユニット要件が緩和された。③二類感染症の個
室管理300点に加え, 陰圧管理200点の新設された(両
点数の合算も可能)。④D017-1 排泄物, 滲出物または
分泌物の細菌顕微鏡検査が32点から42点になり, かつ
集菌法は32点の増点が新設された。⑤D020の1 抗酸
菌分離培養検査1が150点から200点に増点された。⑥
D022 抗酸菌薬剤感受性検査はすべて230点から300
点に増点された。⑦D015-24 結核菌特異蛋白刺激性遊離
インターフェロン γ 測定が420点から600点に増点され
た。

5. 用語委員会(鈴木(栄)委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ
①日本医学会医学用語辞典 英和(第3版)オンライ
ン事典を日本医学会分科会会員に限り, 無料閲覧可能。

学会誌とホームページで会員にお知らせする。②「結核の用語」(英和)はホームページから削除する。③「新しい結核用語事典」の欧和の索引・巻末資料をホームページに載せ、会員にお知らせする。④用語事典の普及について：行政、病院図書館へ案内を送付し購入を促す。⑤学会誌「結核」キーワード(英文)のホームページ掲載は今後も継続する。⑥次回、用語事典の改訂時には、CD-ROM版等、電子媒体での改訂を考慮する。

6. 教育委員会(長谷川委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ

①「結核診療ガイドライン」の普及方法：2009年6月に発行されたが、各地方会に働きかけ、教育講演の枠を確保していただき、ガイドラインの作成目的、内容のポイントを、講演会の教育企画として場を設けたい。講演者はガイドラインの作成委員に話していただきたい。旅費・謝礼は支部学会・本部どちらかで負担する。講演会後のアンケート意識調査も行いたい。

②「結核症の基礎知識」の普及方法：パワーポイント形式でCD-ROMで作成してはどうか。

③「結核診療ガイドライン」の改訂：組織作りと方向性を決めるため、委員会開催予定。

(渡辺理事長)各地区の講演会予定を委員から集約し、feedbackしていただきたい。

7. 予防委員会(長尾委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ

①委員会報告「医療施設内の結核感染対策について」を結核誌第85巻第5号に掲載した。問題になりそうな点を討議した。雇い入れ時QFTの費用について：来年まで意見を見てStatementが必要であれば対応する。②QFTの3G使用指針を作成する。予防委員4名、治療委員2名で小委員会を立ち上げ、使用指針を作成する。③学会分類の検討を提案されたが懸案事項とした。④特定疾患予防指針の改定に対応する。

8. 非結核性抗酸菌症対策委員会(鈴木(克)委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ

①副委員長を長谷川直樹先生とする。「肺非結核性抗酸菌症に対する外科治療の指針」「肺非結核性抗酸菌症化学療法に関する見解2008年」は、暫定のため、MAC以外の記載がない。1998年の委員会報告を改訂し、暫定見解と合わせ、本格的な治療指針を作成する。委員長推薦委員として、倉島篤行先生、小川賢二先生を推薦する。(承認された。小川先生は委員重複のためWGとする。)②上記委員会報告を、日本呼吸器外科学会に手引きという形で周知したい(呼吸器外科学会誌9月号掲載予定)。

9. 抗酸菌検査法検討委員会(富岡委員長)

平成21年10月28日 於 結核予防会

平成22年5月19日 於 京都テルサ

①薬剤感受性外部精度評価を、抗酸菌施設を対象に実施している。2009年度結果を参加施設へ開示した。

②成績のよくない施設の問題が解決されていない。早急に論文化し、結核誌に掲載、注意を喚起する。成績のよくない施設には、委員が直接施設に向いて事情徴取と適切な指導をする。ピラジナミド・キノロンを外部精度評価に、次年度に対象薬として載せていく。エタンブトール・ストマイは、評価パネルではずしていく可能性を検討していく。

③抗酸菌検査室の機能および精度保証活動に関する調査：検査室センターと病院の検査室を対象として数百カ所を対象として調査を行っていく。調査リストが出来上がったので、1カ月ほどで回収、秋には解析結果について委員会を開催し、どのような活動展開をするか話し合っていく。

10. 将来計画委員会(森下委員長)

平成22年4月9日 第1回法人化検討会

於 東京交通会館

平成22年4月23日 第2回法人化検討会

於 京都国際会館

平成22年5月19日 於 京都テルサ

①結核・抗酸菌症認定制度：規則・細則について平成21年9月の理事会・評議員会で一部の修正を加えて、承認されたので、そのように文言を訂正した。制度の周知のため、支部学会と日本呼吸器学会学術講演会でリーフレットを配布した。

②法人化：平成20年末に一般社団法人法という新しい法律が出来、今までと状況が変わった。法人格取得により学会の社会的信用が向上し、認定制度を始めるにあたり有利となり、また学会の財産保全に有利であること、形態としては非営利型一般社団法人化が本学会に適していることを説明。(非営利型一般社団法人化が承認された。)

③各種委員会の効率のあり方：領域が重なる委員会があり、再編を含めた見直しをする。必ずしも各地域から委員を集める必要のない委員会もある。より効率的運営ができるよう、専門家を選ぶことも可能とする。

11. 保険・看護委員会(武内委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ

院内DOTSが定着してきた感がある。作成され5年半経過、法律も改正されたため見直しをする。地域DOTSを円滑に進めていくためのシートを作成する。

12. 国際交流委員会(河野委員長)

平成22年5月19日 於 京都テルサ

2008年在日外国人全国実態調査票を530カ所の保健所に送付し84%、449施設から回答があった。在日外国人

の結核患者を経験した施設が54%、243施設、延べ834件の報告があった。治療途中の帰国が144例あった。外国人結核患者への対応のしかた、治療完了までの滞在の勧め、途中帰国する際に渡す治療の手引書などをまとめ、ホームページ等に掲載し、臨床医に準備できればよい。来年の第3回アジア太平洋地域国際結核肺疾患予防連合会議シンポジウムのシンポジストとして、服部俊夫氏（東北大学）、永井英明氏（NHO東京病院）、鈴木定彦氏（北海道大学）、鈴木克洋氏（NHO近畿中央胸部疾患センター）が推薦された。

13. ICD制度認定委員会（佐々木委員長）

平成22年5月19日 於 京都テルサ

日本呼吸器病学会との合同企画は、100名以上が集まり好評であった。来年の企画について委員会で内容を検討している。日本内科学会・日本移植学会・日本エイズ学会・日本糖尿病学会・日本透析学会等とコラボレーションをしたいとの希望があり、理事長と相談し企画していく。

14. ホームページ委員会（小川委員長）

平成22年1月22日 於 結核予防会

平成22年5月19日 於 京都テルサ

Top pageを全面的にリニューアルすることに着手している。論文ごとにPDF化し、キーワード検索できるか検討する。学会員のメリットページを作成、会員獲得を目指す。看護師・保健師向けサイトについて、教育委員会・用語委員会と相談していきたい。本年12月末には、新しいTop pageをスタートさせたい。

15. プログラム委員会

第85回総会プログラム委員会（倉澤会長）

平成21年12月11日 於 ウェルサンピア京都

第86回総会プログラム委員会（中島次期会長）

平成21年12月14日 於 アルカディア市ヶ谷（本誌前付頁参照）

Ⅲ. 支部活動状況報告

北海道支部（清水支部長）

第56回結核談話会 平成21年11月28日 札幌市の結核診療強化研修と合同で実施、132名（医師67名）の参加。特別講演：鈴木公典氏（ちば県民保健予防財団）「潜在性感染症結核の現状と課題」。第62回 平成22年2月27日 本田泰人会長（NTT東札幌病院呼吸器内科）、日本呼吸器学会・サルコイドーシス肉芽腫疾患学会支部会と合同開催。特別講演：大崎能伸教授（旭川医科大学呼吸器センター）「臨床研究の性格から考える肺癌治療の実際について」。同日、支部評議員会開催。支部会則を一部改訂、概要は以下のとおり。・支部選出の評議員枠について、70歳の定年制を導入すること、行政からの評議員推薦に一定枠を設ける。・本部選出役員との混同を

避けるため、文言を一部修正。

東北支部（渡辺支部長）

第118回 平成21年3月7日 新島一直会長（福島県立会津総合病院内科）、第119回 平成21年9月12日 松浦圭文会長（太田西の内病院呼吸器センター）、第120回 平成22年3月6日 藤井俊司会長（山形県立中央病院呼吸器内科）、第121回 平成22年9月4日 武田博明会長（済生会山形済生病院内科）、いずれも日本呼吸器学会との合同開催。

関東支部（長尾支部長）

第156回 平成21年9月5日 斉藤武文会長（NHO茨城東病院呼吸器内科）、第157回 平成22年2月20日 徳田均会長（社会保険中央総合病院呼吸器内科）、第158回 平成22年9月18日 石井芳樹会長（獨協医科大学呼吸器アレルギー内科）、第159回 平成23年2月19日 藤田明会長（都立多摩総合医療センター呼吸器科）、第160回 平成23年9月 鈴木公典会長（ちば県民保健予防財団）、いずれも日本呼吸器学会と合同開催。

北陸支部（理事長代読）

第74回 平成21年5月23・24日 小池輝明会長（新潟県立がんセンター）、第75回 平成21年11月7・8日 戸邊一之会長（富山大学第一内科）、第76回 平成22年5月29・30日 佐久間勉会長（金沢医科大学呼吸器外科）、第77回 平成22年11月6・7日 鮎島慎吾会長（福井大学医学部第三内科）、日本呼吸器学会・呼吸器内視鏡学会・サルコイドーシス学会と合同で開催。

東海支部（長谷川支部長）

第113回 平成21年6月27・28日 服部良信会長（藤田保健衛生大学呼吸器外科）、第114回 平成21年11月22・23日 坂英雄会長（NHO名古屋医療センター呼吸器科）、第115回 平成22年6月26・27日 横井香平会長（名古屋大学呼吸器外科）、第116回 平成22年11月13・14日 金田正徳会長（三重中央医療センター呼吸器外科）、日本呼吸器学会と合同開催。

近畿支部（倉澤支部長）

夏の支部学会は結核病学会、冬は呼吸器学会が主催し、年2回開催している。第103回 平成21年7月18日 田中栄作会長（天理よろづ相談所病院感染症管理センター）、第104回 平成21年12月12日 中野孝司会長（兵庫医科大学内科学呼吸器・RCU科）、第105回 平成22年7月17日 坂東憲司会長（大阪府済生会中津病院呼吸器内科）、第106回 平成22年12月11日 一ノ瀬正和会長（和歌山県立医科大学内科学第三講座）、第107回 平成23年7月23日 鈴木克洋会長（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター内科）、第108回 平成23年12月3日 平田一人会長（大阪市立大学大学院医学研究科呼吸器病態制御内科学）、第109回 平成24年（日程未定）一山智

会長（京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学）。

中国四国支部（福岡支部長）

第59回 平成21年2月22日 多田慎也会長（労働者健康福祉機構香川労災病院），第60回 平成22年2月6日 竹山博泰会長（山口アレルギー呼吸器病センター），第61回 平成23年1月22日 森高智典会長（愛媛県立中央病院呼吸器科感染制御部），日本呼吸器内視鏡学会と合同開催。

九州支部（中西支部長）

第62回 平成21年5月23日 久場睦夫会長（国立病院機構沖繩病院），第63回 平成21年11月26・27日 安元公正会長（産業医科大学病院），第64回 平成22年6月19日 北原義也会長（国立病院機構大牟田病院），第65回 平成22年11月12・13日 興梠博次会長（熊本大学医学部附属病院），第66回 平成23年6月25日 吉永健会長（熊本中央病院），第67回 平成23年11月18・19日 渡辺憲太朗会長（福岡大学病院），日本呼吸器学会と合同開催。

Ⅳ. 第84回日本結核病学会総会収支決算報告（岸前会長）（本誌732頁参照）

盛会裡に開催でき御礼を申し上げたい。なお、100万円に関しては本部に返金申しあげた。

Ⅴ. 第86回日本結核病学会総会準備状況（中島次期会長）

（本誌前付頁参照）

Ⅵ. 平成21年度学会賞について（倉澤会長）

今村賞：受賞者 ①小川賢二氏（国立病院機構東名古屋病院）「MACの遺伝子研究」，②菊地利明氏（東北大学病院）「肺 *Mycobacterium avium* 感染症における病勢と菌遺伝子型との関連」

研究奨励賞：受賞者 ①森本耕三氏（結核予防会複十字病院）「肺 MAC 症の病型，男女別の臨床的検討」，②山本輝人（三島共立病院）「市中病院の剖検で見られた活動性肺結核例の臨床病理学的検討」，③ L.P. LAGRADA（東京医科歯科大学）「Analysis of Factors of Treatment Completion in DOTS Health Facilities in Metro Manila, Philippines: A Case-Control Study」

Ⅶ. その他

(1) 賛助会員：現在8社であるが、賛助会員の企業を増やすべく、渡辺理事長が十数社に依頼、数社が検討中である。学会賞規約・特典等を常務理事会で作成、学会賞選考委員会の承認を得た。

(2) 今村賞への寄付：結核予防会大阪府支部より、今年度より寄付中止との連絡があった。渡辺理事長の働きかけにより、結核予防会大阪支部長より、平成23年度以降は前向きに検討したいと連絡があった。

(3) 電子アーカイブ化：(独) 科学技術振興機構により、

無料で、結核誌第1巻～83巻が今年10月に一般公開化される。

(4) 保存結核誌：事務局が保存している86年分の結核誌の紙質が劣悪化している。太平洋戦争中の合本はもとも紙質も悪いため、判読不能なほど状態が悪い。戦前、戦後の結核誌を本部事務局へ寄贈してもよい施設があれば、事務局へ連絡してほしい。

(5) 冠婚葬祭に関する申し合わせの内規：常務理事会で作成した。訃報は、電子メールで名誉・功労会員・評議員へお知らせする。

(6) 秩父宮妃記念結核予防功労賞の受賞：支部長に推薦者を諮り、長尾啓一氏が受賞した。

(7) 委員会報告の英文化：各委員長が英文化の対象を選び、非結核性抗酸菌症委員会報告2件、治療委員会報告2件、業者により英文化した。各委員会で内容確認後、国際交流委員会で最終的に確認している。結核誌へ掲載予定。

(8) 事務局の場所：結核予防会に現在間借りしている状態であるが、結核予防会より依頼があり、平成22年4月、貸金庫に本学会の金庫は移動し、結核研究所内の倉庫にある結核誌・書類も引越業者に保管を依頼した。今後、法人化に伴い、事務局の移動先を常務理事会で決定、報告する。

(9) 会員管理ソフト：保守サービス・消耗品が終了しているため、結核誌送本や選挙に支障がでている。平成22年度、新ソフトを導入する。予算は平成18年度承認済み。

議案

第1号議案 平成21年度日本結核病学会収入支出決算（鈴木常務理事）（本誌730頁参照）

（承認された。評議員会へ提議。）

（西村監事）平成22年2月8日、阿彦忠之先生と2人で監査を致しました。正確かつ適正に処理されておりました。

第2号議案 平成22年度日本結核病学会収入支出予算（鈴木常務理事）（本誌731頁参照）

（承認された。評議員会へ提議。）

第3号議案 第87回総会会長並びに開催地について（渡辺理事長）

重藤えり子先生（NHO東広島医療センター）を推薦致したい。（承認された。評議員会に提議。）

第4号議案 名誉会員の推薦について（渡辺理事長）

九州支部：斎藤厚氏・那須勝氏（承認された。評議員会に提議。）

第5号議案 委員の推薦について（渡辺理事長）

学会賞選考委員：北海道支部 西村正治氏、東北支部

高橋恵一郎氏，東海支部 八木哲也氏，関東支部 下内昭氏，中国四国支部 大串文隆氏，（東北・近畿・九州支部は継続）

保険・看護委員会：近畿支部 桶野和美氏
以上で理事会は終了。

評議員会報告

（平成22年度第1回）

日 時 平成22年5月19日
場 所 京都テルサ
出 欠 評議員（193名中）出席：70名，委任状92名。
欠席31名。

（本誌730頁参照）監査講評：西村監事

第2号議案 平成22年度収入支出予算

（本誌731頁参照）

第3号議案 第87回総会会長並びに開催地について

第4号議案 名誉会員の推薦について

第5号議案 委員の推薦について

第6号議案 その他

報告事項

- I. 会務報告
- II. 委員会報告
- III. 支部活動状況
- IV. 第84回総会収支決算
- V. 第86回総会準備状況
- VI. 委員の推薦について
- VII. 平成21年度学会賞について
- VIII. その他

倉澤会長挨拶の後，鈴木常務理事が会の成立を述べ，渡辺理事長の司会により開催。逝去の報告と黙禱。報告事項に引き続き，議案については理事会同様承認された。

第87回総会会長に重藤えり子氏が推薦され，承認された。

以上により評議員会は閉会。

議案

第1号議案 平成21年度収入支出決算

総会報告

日 時 平成22年5月21日
場 所 京都テルサ

第87回総会会長挨拶

報告事項

- I. 会務報告
- II. 平成21年度収入支出決算
- III. 平成22年度収入支出予算
- IV. 第87回総会会長並びに開催地について
- V. 名誉会員の推薦について
- VI. 第84回総会収支決算報告
第86回総会準備状況

倉澤会長挨拶の後，渡辺理事長より逝去の報告があり，鈴木常務理事により報告事項がなされた。第84回総会収支決算報告があり，第86回総会会長 中島由槻氏から準備状況が報告された。

総会に引き続き，学会賞の授与式が行われ，倉澤会長により今村賞受賞者の小川賢二氏，菊地利明氏，研究奨励賞受賞者の森本耕三氏，山本輝人氏，L.P. LAGRADA氏に賞状と賞金が授与された。

平成 21 年度 決算

平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日

収入の部				支出の部			
区 分	予算額	決算額	内 訳	区 分	予算額	決算額	内 訳
21 年度収入	千円 37,680	千円 37,090		21 年度支出	千円 36,650	千円 39,135	
会 費	28,180	27,795		人件費	7,000	7,388	職員 1・臨時 1 7-カイブ 作業代他
会 費 旧年度	1,100	987		総会費	3,000	6,000	第 84～86 回
賛助会費	1,350	1,250		支部交付金	2,700	2,163	
会誌売上	850	782		事務費	1,700	2,618	
超過掲載料	700	493		通信費		627	
同 図他	250	0		サーバ-使用料		536	
別刷売上	1,000	444		消耗品費・ 支払手数料他		1,455	スキャナー購入 コピー文具・出張
寄附金	0	1,000		水道光熱費	0	45	
広告収入	2,750	2,702		委員会経費	3,600	4,014	
その他	1,500	1,637		旅 費	3,000	3,262	
薬剤精度 転載料		335		その他	600	752	内保連・ICD 会費 送料 (アンケート他)
印 税		987		診療 ガイドライン	450	408	
受取利息		270		会誌経費	17,200	16,033	
会誌送料他		36		会誌代	9,000	9,097	
		9		別刷代	900	492	
				割付校正料	3,500	3,008	
				通信費	3,300	3,068	
				消耗品費	500	368	
				選挙費	1,000	466	
				立替金	0	280	
前受金		1,445		退職引当積立金	0	336	
20 年度より繰入	39,911	39,911		22 年度へ繰越	40,941	38,695	
合 計	77,591	78,446		合 計	77,591	78,446	

平成 22 年 度 予 算

平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日

収入の部					支出の部				
区 分	22 年予算	21 年決算	対 比	内 訳	区 分	22 年予算	21 年決算	対 比	内 訳
	千円	千円	千円			千円	千円	千円	
22 年度収入	36,500	37,090	△590		21 年度支出	37,799	39,135	△1,336	
会 費	28,000	27,795	205		人件費	6,000	7,388	△1,388	
会費旧年度	1,000	987	13		総会費	3,000	6,000	△3,000	
賛助会費	1,450	1,250	200		支部交付金	2,500	2,163	337	
会誌売上	800	782	18		事務費	2,604	2,618	△ 14	
超過掲載料	500	493	7		通信費	600	627	△27	
同 函他	50	0	50		サーバー使用料	504	536	△32	
別刷売上	500	444	56		消耗品費・ 支払手数料	1,500	1,455	45	
寄付金	0	1,000	△1,000		水道光熱費	45	45	0	
広告料	2,700	2,702	△2		委員会経費	4,200	4,014	186	
その他	1,500	1,637	△137		旅 費	3,500	3,262	238	
					その他	700	752	△52	
					診療 ガイドライン	0	408	△408	
					選挙	0	466	△466	
					会誌経費	16,300	16,033	267	
					会誌代	9,000	9,097	△97	
					別刷代	500	492	8	
					割付校正料	3,500	3,008	492	
					通信費	3,000	3,068	△68	
					消耗品費	300	368	△68	
					家賃	700	700		
					会員管理 PC	1,800	1,800		
					英文翻訳料	450	450		
					海外シンポ	200	200		
立替金							280		
退職給与引当金							336		
前受金		1,445							
前年度より繰入	38,695	39,911			次年度へ繰越	37,396	38,695		
合 計	75,195	78,446			合 計	75,195	78,446		

第84回日本結核病学会総会収支決算報告

会期：平成21年7月2・3日
 会場：札幌コンベンションセンター
 会長：岸 不盡彌

収入の部			支出の部		
費用	金額	摘要	費用	金額	摘要
学会本部	3,000,000	日本結核病学会本部	会場借上費	5,086,462	札幌コンベンションセンター
共催セミナー分担金	8,400,000	ランチョン	学会運営委託費	7,878,003	株式会社 E.C.PRO
協賛金・助成金	6,565,000	寄付・展示・広告・助成金	学会運営費	5,398,729	事務用品費等
総会参加費	7,130,000	参加費10,000×713名	会議費	2,352,848	理事会・評議員会
ICD講習交付金	270,738	ICD制度講習会	印刷・製本費	858,460	プログラム冊子・ポスター等
利息	3,074	各年2月、8月 (H22. 1月末日締)	海外講師招請費	1,154,630	
			旅費・交通費	917,650	シンポジスト打ち合わせ等
			通信・運搬費	222,030	
			第84回日本結核病 学会総会 協力謝金	500,000	結核予防会 北海道支 部
			学会本部 返金	1,000,000	日本結核病学会 本部
合計	25,368,812		合計	25,368,812	

日本結核病学会役員および委員名簿

(平成22年6月1日)
(五十音順 敬称略)

役 員

理事長 渡辺 彰 会長 中島 由槻
 常務理事 (総務) 鈴木 公典 (編集) 山岸 文雄 (将来計画) 森下 宗彦

理事 (30名) 任期:平成23年6月3日

北海道支部 (2) 鎌田 有珠 藤兼 俊明
 東北支部 (2) 武内 健一 渡辺 彰
 関東支部 (10) 藤田 明 尾形 英雄 佐々木結花 鈴木 公典 巽 浩一郎
 長尾 啓一 中島 由槻 橋本 修 馬島 徹 山岸 文雄
 北陸支部 (2) 鈴木 栄一 榎 博久
 東海支部 (3) 小川 賢二 長谷川好規 森下 宗彦
 近畿支部 (5) 網谷 良一 一山 智 倉澤 卓也 鈴木 克洋 田中 栄作
 中国四国支部 (2) 重藤えり子 富岡 治明
 九州支部 (4) 相沢 久道 河野 茂 菅 守隆 中西 洋一

監事 (2名) 任期:平成23年6月3日

阿彦 忠之 西村 一孝

評議員 (193名) 任期:平成25年4月30日

北海道支部 (8)

秋山也寸史 大崎 能伸 鎌田 有珠 清水 哲雄 高橋 弘毅 西村 正治 藤兼 俊明
三觜 雄

東北支部 (9)

阿彦 忠之 賀来 満夫 塩谷 隆信 高梨 信吾 武内 健一 新妻 一直 貫和 敏博
棟方 充 渡辺 彰

関東支部 (67+1)

赤川 清子 赤川志のぶ 赤柴 恒人 足立 満 猪狩 英俊 石井 芳樹 市岡 正彦
伊藤 邦彦 稲瀬 直彦 内山 寛子 大森 一光 大森 正子 尾形 英雄 奥村 昌夫
小倉 高志 小野崎郁史 折津 愈 加藤 誠也 金澤 實 川名 明彦 川辺 芳子
菊池 功次 菊池 典雄 工藤宏一郎 久保 惠嗣 黒田 文伸 慶長 直人 小林 典子
斎藤 武文 佐々木結花 下内 昭 須金 紀雄 杉山幸比古 鈴木 公典 高崎 仁
高橋 典明 滝口 裕一 巽 浩一郎 田中 健彦 田辺 信宏 田村 厚久 蝶名林直彦
徳田 均 戸島 洋一 豊田恵美子 永井 英明 長尾 啓一 中島 由槻 二木 芳人
橋本 修 長谷川直樹 原田 登之 福田 健 藤田 明 蛇沢 晶 放生 雅章
星野 齐之 細川 芳文 本間 栄 馬島 徹 益田 公彦 増山 英則 御手洗 聡
八木 毅典 山岸 文雄 山口 哲生 吉山 崇 和田 雅子

北陸支部 (8)

石崎 武志 泉 三郎 佐藤 和弘 鈴木 栄一 榎 博久 中積 泰人 長谷 光雄
藤村 政樹

東海支部 (24)

五十里 明 小川 賢二 近藤 康博 酒井 秀造 佐藤 滋樹 白井 敏博 白井 正浩
進藤 丈 鈴木 雅之 高木 健三 田口 修 谷口 博之 田野 正夫 千田 金吾
新美 岳 丹羽 宏 長谷川好規 馬場 研二 早川 啓史 藤岡 正信 森下 宗彦
安田 和雅 山本 雅史 吉川 公章

近畿支部 (34)

網谷 良一 石原 享介 一山 智 岩崎 博信 岡田 全司 木村 弘 倉澤 卓也
坂本 廣子 佐藤 敦夫 鈴木 克洋 鈴木雄二郎 高倉 俊二 高嶋 哲也 高鳥毛敏雄
高松 勇 田口 善夫 多田 公英 田中 栄作 田村 猛夏 陳 和夫 露口 一成
富岡 洋海 中野 孝司 中原 保治 新実 彰男 藤山 理世 前倉 亮治 松村 理司
松本 智成 松本 久子 光山 正雄 撫井 賀代 望月 吉郎 安場 広高

中国四国支部 (16)

有田 健一 磯部 威 江田 良輔 大串 文隆 沖本 二郎 倉岡 敏彦 小橋 吉博
 重藤えり子 高橋 清 竹山 博泰 多田 敦彦 多田 慎也 富岡 治明 西井 研治
 西村 一孝 矢野 修一

九州支部 (26)

相沢 久道 井上 博雅 井上 祐一 岩永 知秋 加治木 章 門田 淳一 北原 義也
 久場 睦夫 河野 茂 古賀 宏延 菅 守隆 杉崎 勝教 杉本 峯晴 岳中 耐夫
 田代 隆良 健山 正男 道津 安正 中西 洋一 林 真一郎 廣瀬 宣之 福島喜代康
 藤田 次郎 迎 寛 柳原 克紀 力丸 徹 渡辺憲太郎

各種委員会委員

任期：平成23年6月3日 *平成24年5月11日

	編集委員	学会賞選考委員	治療委員	社会保険委員	用語委員	教育委員	予防委員	非結核性抗酸菌症対策委員
委員長	山岸文雄	第85回会長 倉澤 卓也* 理事長 渡辺 彰	重藤えり子	尾形 英雄	鈴木 栄一	長谷川好規	長尾 啓一	鈴木 克洋
北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 委員長推薦	高橋 弘毅 佐藤 研 福田 健 大森 正子 石崎 武志 吉川 公章 岡田 全司 阿部 聖裕 岩永 知秋 金澤 實 菊池 功次 下内 昭 森 亨 山崎 利雄	西村 正治* 武田 博明 下内 昭* 高瀬恵一郎* 八木 哲也* 光山 正雄 大串 文隆* 菅 守隆	藤兼 俊明 藤井 俊司 吉山 崇 斎藤 武文 佐藤 和弘 田野 正夫 露口 一成 小橋 吉博 藤田 次郎	鎌田 有珠 武田 博明 折津 愈 永井 英明 榎 博久 近藤 康博 望月 吉郎 高橋 清 力丸 徹 飛世 克之	木村 清延 川上 和義 橋本 修 徳田 均 長谷 光雄 早川 啓史 佐藤 敦夫 倉岡 敏彦 相沢 久道	大崎 能伸 棟方 充 巽 浩一郎 和田 雅子 藤村 政樹 千田 金吾 田中 栄作 矢野 修一 田代 隆良	本田 泰人 高梨 信吾 猪狩 英俊 加藤 誠也 辻 博 五十里 明 徳永 修 沖本 二郎 渡辺憲太郎	山田 玄 菊地 利明 長谷川直樹 馬島 徹 桑原 克弘 白井 正浩 伊藤 穰 多田 敦彦 加治木 章 倉島 篤行

	抗酸菌検査法検討委員	将来計画委員	保健・看護委員	国際交流委員	ホームページ委員	ICD制度認定委員	第86回プログラム委員
委員長	富岡 治明	森下 宗彦	武内 健一	河野 茂	小川 賢二	佐々木結花	次期会長 中島 由槻
北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 委員長推薦	藤内 智 塩谷 隆信 御手洗 聡 二木 芳人 桶谷 典弘 中川 拓 樋口 武史 西井 研治 健山 正男 阿部千代治 小栗 豊子 斎藤 肇	清水 哲雄 貫和 敏博 藤田 明 杉山幸比古 大平 徹郎 佐藤 滋樹 高島毛敏雄 有田 健一 中西 洋一	三觜 雄 賀来 満夫 小林 典子 成田 友代 泉 三郎 藤岡 正信 樋野 和美 磯部 威 福島喜代康	田中 裕士 服部 俊夫 伊藤 邦彦 工藤宏一郎 中積 泰人 田口 修 網谷 良一 竹山 博泰 門田 淳一 小野崎郁史	秋山也寸史 三木 誠 星野 齊之 原田 登之 高瀬恵一郎 新美 岳 富岡 洋海 清水 利朗 迎 寛	網島 優 新妻 一直 小倉 高志 西 耕一 八木 哲也 高倉 俊二 江田 良輔 山本 善裕	— 三木 誠 大森 一光 — 田口 修 飯沼 由嗣 — 山本 善裕 赤川 清子 斎藤 武文 下内 昭 小林 典子 豊田恵美子

— 副委員長

日本結核病学会名誉会員，功勞会員名簿

名譽会員 (32名)

(平成22年8月27日
称号授与年・五十音順 敬称略)

平成1：重松 逸造
 平成4：今野 淳
 平成7：梅田 博道， 島尾 忠男
 平成9：螺良 英郎， 芳賀 敏彦， 山本 健一
 平成11：青木 國雄， 池田 宣昭， 岩井 和郎， 大島 駿作， 亀田 和彦， 久世 文幸，
 齋藤 肇， 篠田 厚， 原 耕平， 福士 主計， 本宮 雅吉
 平成15：志村 昭光
 平成18：東 市郎
 平成20：松島 敏春
 平成22：齋藤 厚， 那須 勝

平成3：岩 喬， 岡安 大仁， 前川 暢夫
 平成6：山本 恵一
 平成8：橋本達一郎
 平成17：石崎 驍， 小山 明
 平成19：荒井他嘉司
 平成21：露口 泉夫

功勞会員 (78名)

(平成22年8月27日
五十音順 敬称略)

浅川 三男	阿部 庄作	阿部千代治	荒川 正昭	安藤 正幸	池田 東吾	石川 信克
泉 孝英	井上圭太郎	今村 昌耕	上田 暢男	大泉耕太郎	大城 盛夫	大谷 信夫
岡田 慶夫	小倉 剛	小栗 豊子	折津 愈	柏木 秀雄	片山 透	萱場 圭一
河合 健	川城 丈夫	川村 達	岸 不盡彌	来生 哲	喜多 舒彦	北村 諭
城戸 優光	木村 郁郎	工藤 翔二	倉島 篤行	栗山 喬之	小林 宏行	小松彦太郎
坂谷 光則	佐藤 篤彦	佐藤 博	志摩 清	下出 久雄	下方 薫	杉浦 孝彦
杉田 博宣	鈴木 光	鈴木 清繁	高瀬 昭	高本 正祇	瀧澤 弘隆	立花 暉夫
田中 元一	谷 淳吉	谷本 晋一	津田 富康	土屋 俊晶	戸井田一郎	徳永 徹
飛世 克之	中井 準	長尾 光修	中富 昌夫	中西 敬	長谷川鎮雄	日置辰一朗
藤野 忠彦	堀江 孝至	町田 和子	松宮 恒夫	宮下 脩	三輪 太郎	森 亨
森岡 茂治	矢次 正東	山口 智道	山村 好弘	吉田 清一	吉田 文香	吉田 稔
四元 秀毅						

日本結核病学会支部長一覧

(平成22年3月25日)

北海道支部	清水 哲雄	北海道社会保険病院 〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8-3-18 【事務局】 〒060-0808 札幌市北区北8条西3 札幌エルプラザビル5階 結核予防会北海道支部内	TEL: 011-831-5151 TEL: 011-700-1331	FAX: 011-821-3851 FAX: 011-700-1330
東北支部	渡辺 彰	東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1	TEL: 022-717-8540	FAX: 022-717-8540
関東支部	長尾 啓一	千葉大学総合安全衛生管理機構 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 【事務局】 〒204-8533 東京都清瀬市松山3-1-24 結核予防会結核研究所内	TEL: 043-290-2210 TEL: 042-492-2091	FAX: 043-290-2211 FAX: 042-491-8315
北陸支部	石崎 武志	福井大学医学部看護学科 〒910-1104 福井県吉田郡松岡町下合月23-1	TEL: 0776-61-8548	FAX: 0776-61-8145
東海支部	長谷川好規	名古屋大学大学院医学系研究科 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65	TEL: 052-744-1918	FAX: 052-744-2176
近畿支部	倉澤 卓也	国立病院機構南京都病院 〒610-0113 京都府城陽市中芦原11	TEL: 0774-52-0065	FAX: 0774-55-2765
中国四国支部	富岡 治明	島根大学医学部微生物・免疫学教室 〒693-8501 出雲市塩冶町89-1	TEL: 0853-20-2146	FAX: 0853-20-2145
九州支部	中西 洋一	九州大学大学院医学研究院 臨床医学部門内科学講座呼吸器内科学分野 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	TEL: 092-642-5376	FAX: 092-642-5389